

令和6年度 第3回 焼津市地域公共交通会議 会議録	開催	日時 令和7年1月30日(木) 13時15分～14時45分	
		場所	市役所7階 会議室7A
報告事項	焼津市地域公共交通計画における目標達成状況について		
協議事項	ア 令和7年度自主運行バス・デマンドタクシー運行計画(案)について イ 令和6年度地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価(案)について ウ 令和7年度路線バス単独継続困難路線の対応について		
出席委員 11名	(公共交通会議) 福與 会長 (焼津市) 市川 代理委員 (しずてつジャストライン(株)) 中村 代理委員 (株アンビ・ア) 小泉 委員 (静岡県タクシー協会志太榛原支部) 増田(秀) 委員 (中部運輸局静岡運輸支局) 廣津 代理委員 (静岡県交通基盤部) 浅井 代理委員 (静岡県島田土木事務所) 大谷 代理委員 (静岡県焼津警察署) 白石 委員 (焼津市自治会連合会) 神谷 委員 (焼津市社会福祉協議会) 八木 委員 (静岡福祉大学)		
欠席委員 4名	(一社)静岡県バス協会 堀内委員、ジャストライン労働組合 山田委員、 さわやかクラブやいづ連合会 原川委員、焼津市民生委員児童委員協議会 増田委員		
オブザーバー	焼津市建設部長 白石 雅治		
傍聴者	1名		
議事内容			
会議の成立	委員総数15名の内11名が出席している。過半数を超えているため会議は成立する。		
報告事項	<p>焼津市地域公共交通計画における目標達成状況について</p> <p>*説明資料 P.2～5</p> <p>自主運行バスや民間路線バス、市内3か所のデマンドタクシーについて、利用者数や利用促進策など、当計画における目標達成状況について説明した。</p> <p>【質問・説明等】</p> <p>○小泉委員：5年ほど前からデマンドタクシーの運行が始まり、議題に上がることが増えた。資料に市内のタクシー利用者数等について記載があれば、デマンドタクシーとの比較がしやすいと思う。「統計やいづ」には、タクシー協会に加入している市内4社の報告があるので、ぜひ利用していただきたい。</p>		

協議事項

ア 令和7年度自主運行バス・デマンドタクシー運行計画（案）について

*説明資料 P.6～8

自主運行バス及び市内3地区のデマンドタクシーについて、令和7年度も今年度と同内容での運行計画であることと、それぞれの利用促進策について説明した。

【質問・説明等】

○廣津代理委員：資料3の7ページ上部、来年度計画（案）について『静岡県生活交通確保維持対策協議会へ報告する』とあるが、昨年3月より名称を「静岡県地域公共交通活性化協議会」へと変更したので、訂正をお願いしたい。

⇒事務局：訂正させていただく。

○増田(秀)委員：来年度も今年度と同様の運行計画ということだが、焼津IC周辺地域および大島・三和地区デマンドタクシーは利用者数の減少が見られるので、原因分析や効果検証をお願いしたい。

⇒事務局：利用者数が減少している地域は、原因分析や利用促進策を実施していく。

○神谷委員：くるりん号（大井川地区デマンドタクシー）について3点。

1. 新しい停留所は既に稼働しているか。
2. 『ここに停留所があったら助かる』という声を聞くが、停留所の追加は年に何回くらいできるか。
3. 『土日祝日も平日と同じ本数の運行希望』や『市立病院へ直接行ってほしい』という声を多く聞く。市立病院までは「大井川庁舎を結節点とし、路線バスへ乗り換える」ように案内している。大井川庁舎は路線バスの始発のため、バスは長く停車しており、くるりん号はバスの発車約10分前に到着するので、乗り換えは難しくないように思えるが、多くの方が乗り換えることに対してストレスを感じているようだ。乗り換えが難しくないことをPRしていけば良いと思う。

⇒事務局：1. 新規停留所は、前回の公共交通会議で承認され、国への手続きが完了したため大井川分科会に報告後に周知し、運用を予定している。
2. 停留所は、乗降の安全性や他の停留所との距離を検討し、随時に追加が可能である。
3. デマンドタクシーとバスとの乗り換えにつきましては、PRや不安の解消に引き続き努めていく。

【採択】

増田(秀)委員の意見を踏まえ、利用者数が減少しているデマンドタクシー2地区（焼津IC周辺地域、大島・三和地区）の分析や利用促進策を実施することを追加し、令和7年度自主運行バス・デマンドタクシー運行計画（案）とする。

事務局案に賛成の方の挙手

～賛成総意～

事務局の提案通り実施する。

イ 令和6年度地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価（案）について

＊説明資料P.9～11、資料4

地域公共交通確保維持改善事業に係る事業（地域内フィーダー系統）について概要説明の後、今年度評価を受ける、学識経験者による国の第三者評価委員会へ向けた資料4について説明した。

【質問・説明等】

○増田(秀)委員：国の第三者評価委員会は、各運輸局において毎年度実施しており、フィーダー系統の運行や公共交通計画策定にあたり補助金を受けている自治体を対象に、立候補や推薦で決定する。
焼津市のフィーダー系統を評価するとともに、市内の公共交通の利便性向上や活性化にどのように取り組んできたのか、経緯や結果、今後の施策を発表し、有識者から講評をいただくもの。
焼津市は令和3年度にも対象だったが、多くの自治体で2～3年に1度、今年度志太地域では他に藤枝市と川根本町が対象である。
有識者から講評や助言をもらう貴重な機会なので、今後の施策に活かしていただきたい。

【採択】

事務局案に賛成の方の挙手
～賛成総意～
事務局の提案通り実施する。

ウ 令和7年度路線バス単独継続困難路線の対応について

＊説明資料P.12～16

補助対象の路線の概要説明の後、今後の方針について説明した。

＊静岡県交通基盤部地域交通課 廣津代理委員より、「令和6年度地域間幹線系統に関する事業評価」について説明。＊説明資料5
評価基準の今年度からの変更点と、それを踏まえた評価結果の報告および、12月に実施した小学生バス無料デーの報告があった。

＊しずてつジャストライン株式会社 市川代理委員より「地域間幹線確保維持計画系統別評価シート」について説明。＊説明資料6
対象の五十海大住線、焼津岡部線、藤枝吉永線、藤枝相良線の4路線のうち、藤枝吉永線がA評価、ほか3路線がB評価となった。各路線について乗客の内訳や収支等の分析結果の報告があった。特筆事項として、昨年10月から、27年ぶりに運賃改定を実施した。人手不足が背景にあり、運転士の処遇改善や物価高騰の影響を受けたものである。

	<p>【質問・説明等】 特になし</p> <p>【採択】 事務局案に賛成の方の挙手 ～賛成総意～ 事務局の提案通り実施する。</p>
閉会	予定していた議事が終了 次回会議については、開催が決定し次第連絡する。